

【ねがいましては】

平成14年8月30日

第148号

KYOWA SCHOOL

「美しきもの」

CAMP から帰って数日後、教室の駐車場では高1のYちゃんと、中2のSちゃんが仲良く草取りをしています。カマを片手に蚊に刺されながらも汗を流します。今この時代に自ら進んで草刈りをする子たち。時間を見つけては教室にやってきて、私の加盟するそろばん連盟の仕事を手伝ってくれる子たち。

CAMP 最終日、キャンプ場のマスターはじめ、そこに働くアルバイトの方々とのささやかな食事の際、私はその方々の前でひとつの宣言をしました。

「何か、本当の学校になれたような気がします。」

私が作り上げたものではありません。あなた方の美しきものがそうさせたのです。

CAMP 場スタッフのゴリさんが感動のあまり泣いていました。「先生が言われた、『毎日の CAMP 場からのおやつの差し入れにお礼を言おうね！』に、全員が走って行きましたよね。それ見てオレ、なみだがチョチョ切れましたよ。」「そんな教室、今までに一度も見たことないです。うれしいっす。」

私がそうさせたのではありません。このキャンプに参加したみんなの気持ちがそうさせたにすぎません。

良いことも、悪いことも皆、みんなの心の中にしっかりとあります。それをものさしに生活すればいいのです。それをしっかりとやってのけただけなのです。

子供たちの心と心のふれあいは、一日一日と過ぎるごとに深ります。やがて私の気持ちを受け取ったスタッフさんたちの心が、その下に広がるちびっこさんたちの心へとバトンタッチをします。どうしても陥りがちな学校から受け取ってしまう心「競争心」。いい面もありますが、反面「こころ」をないがしろにしがちな物、なんでもかんでも「一番」が美德と考えている子もいます。自分がリーダーでないと気持ちが収まらない子もいます。そんな中、日一日とスタッフさんたちの暖かい気持ちは、子供たちの心をそっと包み込みます。

広場では小学生から高校生までが、みんなでドッヂボールをしています。私は少々疲れ気味。

年上年下など気にもせず、思いきりボールをぶつける子。女の子にはしっかりと気を使ってそっとぶつける少年。スタッフさんたちはそんなところに心のアンテナを張ります。「○○君かっこいい！」と、当たり前なことかもしれないが、「人」に対する評価はそういうところにあるような気がします。成績ではないのです。男の子でも、女の子でも、そのような当たり前の評価が、今の学校社会では失われているような気がします。

小さい子達はどうしても『誰かが○○してくれる』という受け身な気持ちになりがちです。か



わいがってくれる、言葉をかけてくれる、作ってくれる、など・・・。そのような気持ちでいると、徐々にわがままな気持ちが支配し始めます。ほんの少しの小さな「勇気」がそのすべてを解決します。自分から周りの人に対して「思いやりの言葉」をかける。自分から片付ける。自分から動く・・・。すばらしい「自立」への第一歩が始まります。〇〇ちゃん、やさしい子だよね・・・。

ある日の街への買い物からの帰り、車の中で再三にわたるリーダーさんの「うるさいよ。」の注意に全く耳をかたむけない2人。私は車を止め、その2人を車からおろしました。「歩いて帰って来い・・・。」

彼らは、キャンプ場までの15分、どのような気持ちで歩いていたのでしょうか。私の心中は高鳴ります。案の定、暗い顔つきで私の前に現れました。ちょっとびりガクッ！。

目の前に広がる雄大な山々、きらきらと輝く湖、そのどれもがもったいないくらいの宝物。その自然に囲まれながら2人は歩く。なんという贅沢な時間。2人の気持ちの中にはキャンプ場についてもきっとまた先生にしかられるのだろう。どんなしかられ方をするのだろう。と、不安な気持ちだけで歩いてきたのでしょうか。もし、「先生、さっきはごめんなさい。でも、どうもありがとう、すごい景色だったよ。」なんて言われでもしたら、100点満点！。



朝6時、ひんやりとした空気の中を、Jちゃんは一人で昨日の夕食のそのままになった食器を片付けています。何度も何度も炊事場とバンガローの間を往復します。高2になった彼女は、私の「SOS」を快く聞き入れてくれました。(参加者が予想以上に多くなったので、お手伝いを頼んだのです。) 朝の澄み切った空気は、そんな働く彼女を美しく引き立てます。

薪を使っての炊飯を、やけどをしながらも真剣な目で見つめ続けるYちゃん。大人でもそうは簡単に出来ない「かまど」での炊飯・・・。30人分のごはんを任せられた責任感なのでしょう。その瞳に、私は美しいものを感じました。

食事の際、私が子供たち優先で食事を配っているのを陰でしっかり見ていたAちゃんは、いきなり私をしかりつけます。「先生いいから食べて！」

私の心中には、大粒の涙があふれます。

2日目からの参加を、部活を終えてのその足で駆けつけてくれた3人の子達・・・。

私の中で流れ落ちる涙は、その勢いを増すばかりです。

毎年のようにお手伝いしてくれるOLのMさん。そしてFさん。私はこのような方々の温かい気持ちに支えられて、今年も総勢32名のKYOWA SCHOOL CAMP 2002を終えることが出来ました。

どれだけお礼を言っても足りません。どのように恩返しをしたらよいのやら・・・。

あなた方から戴いた、この思いやり、やさしさ・・・今ここに通う子供たちへこつこつと返してゆくことが私の仕事なんですね。

キャンプ3日目の夜、あなた方が流した涙に、私は本物の「美しきもの」を見つけることが出来ました。このCAMPのスタッフとして精一杯働いてくれたあなた方を、私の「ありがとうございます！」に美しく答えてくれたあなた方のみだを、私は忘れる事はありません。

今、私は確信しています。あなた方は本当の「ひと」になられました。長い人生の中で、このCAMPで見た流れ星。この一瞬の光は、今でも目を瞑れば何度も何度も流れます。その流れ星

のようなあなたの方のなみだをこの先、宝物にして歩いていきます。また来年、この同じ空の下で同じように流れ星を見ることを楽しみにしています。

さて、このようなスタッフさんたちに囲まれた後輩さんたち、あらためて彼女たちの美しさに拍手を送ってあげてください。そして君たちの目の前に、すばらしい目標とする先輩たちがいることを幸せに思ってください。

さて、これからです。この小さな学校、私たちの「やさしさと思いやり」に包まれた学校のメンバーさんたち。今の、競争競争で壊れてしまった子供たちの心の手を少しずつですが、握つてあげるときが来たように思います。助けてあげようね！

『心が温かくなるとなぜか歩けるのです。』

そして最後に今回参加されたメンバーさんたちすべてに・・・

このキャンプ費用を出してくれたお父さん・お母さんの働く姿を思い浮かべてください。

どうもありがとうございます。心から感謝しています。

9月の予定

9月 第1週 学習科、全国統一模擬テスト実施（夏の間の成果を試しましょう）

9月13日（金）全珠連珠算・暗算検定試験申し込み締め切り

25日（水）～27日（金）珠算・暗算検定試験実施・・・KYOWA SCHOOL

CAMP参加者たちの声

今年でキャンプ2回目なんですが、先生は細かいところまでちゃんと見ているなあと、つくづく思いました。昼寝、つりなどをしていたのも、ちゃんと一人一人のいいところを見ていることに、尊敬＆感謝しました。私より年上の人たちもとても頼りになりました。それがとてもうれしかったです。本当に楽しいキャンプをどうもありがとうございました。今年は2日目からの参加でしたけど、来年は絶対全部参加するぞ！（S. Y中2）

私は今年初めてのキャンプだったので、いろいろと不安なところがあったけれど、スタッフの人や、まわりの人たちに沢山助けられましたと安心しました。そしてスタッフの人たちは、いろいろな事に目が行き届いていて、とても感心しました。私もあんな風になりたいなあと思いました。おかげでとーってもいい思い出になりました。来年も絶対行って、もっといい思い出を作りたいです。（E. Y中3）

新学期新入生募集いたします まずは体験から・・・



新指導要領実施に伴う「学力低下」を防ぎましょう

暗算力をつけることで計算分野はしっかりと得意技になります。

計算力の基礎をしっかりと身につけることで勉強嫌いから開放されます。

表情が生き生きしてくるのです。

（自分歩きの勉強室）